

第 65 回北海道音楽教育研究大会函館・道南大会 小学校の部公開授業 報告書

件名	第 65 回北海道音楽教育研究大会函館・道南大会 小学校の部公開授業におけるスズキ製品の使用状況について。
日時	2023 年 11 月 10 日 (金) 9:45~10:30
場所	函館市立東山小学校体育館奥側半面
授業者	函館市立東山小学校 2 年 1 組担任 坂本久美先生
児童	函館市立東山小学校 2 年 1 組 29 名
題材名	「いい音 見つけて えんそうしよう」 表現：器楽
貸出楽器	SO-70CU×1 なかよしリズムスタンドタイプ×2 バスウッドドラムスタンド付き×2 子供たちを取り囲むように配置
助言者	北海道教育庁渡島教育局教育支援課義務教育指導班指導主事 三笠裕也氏

報告

内容
<p>○本時は全 5 時間授業の 4 時間目。1~3 時間目で「森のたんけんたい」に合わせて好きな動物とその行動の替え歌を作り、それぞれ作った歌詞に合った楽器と演奏の仕方を子供たちで考え、同じ楽器ごとの 2~3 人のグループで歌いながら演奏する。本時ではその演奏の発表を聞き合い、聴いた感想やアイデアを伝え合う。その後貰った感想とアイデアを取り入れて再度発表を行っていた。</p> <p>○「SO-70CU の使用に関して」 SO-70CU は CD を再生するために使用。「森のたんけんたい」の CD の通常のテンポでは子供たちにとって速すぎるとのことでテンポを調整して再生していた。</p> <p>○「バスウッドドラムの使用に関して」 授業内では「クマさんが歌っている」という作詞をした 2 人がバスウッドドラムを使用して発表。発表直前には自らサウンドホールを動かして好みの音に調整する姿も見られた。感想を貰った後の再演奏時にはより強弱を意識して、お互いのリズムがずれないように気をつけて演奏していた。</p> <p>○「なかよしリズムの使用に関して」 「クマさんが木を削る」という作詞をした 3 人グループがギロの演奏。再演奏時は強弱を意識してスティックを少し叩きつけるように演奏していた。「スズメさんが鳴いている」でフィンガーシンバル使用。合わせシンバルのように鳴らす時と、指から下げてフィンガーシンバル同士の縁を打ち鳴らす奏法を使って音を変えて工夫していた。「ひよこのおやこが歌ってる」ではタンブリンを使用していた。</p> <p>その他今回発表しなかった子供たちもカスタネット、ウッドブロック等なかよしリズムの楽器を使って練習したのち、なかよしリズムスタンドに自ら収納する姿が見られた。</p>

○「まとめ」

授業の終わりでは発表できなかった子供たちが実に残念そうにしている姿が見られ、この授業がいかに楽しく楽器と触れ合えるものだったかが伝わった。

本時は発表を行ったチームが感想を貰って再度発表を行う形式だったため、限られたチームの発表とはなったが、今回発表を行ったすべてのチームが感想を貰って練習を重ねた後の2回目の発表はより良い演奏となっていた。なかよしリズムは9/7に貸出してから2か月ほど2年1組の教室に置いていたようで、授業外でも自ら楽器に触れ遊びながら練習する姿が見られたとのこと。

次の5時間目では本時に発表できなかったグループを中心に発表。その後動物同士が会話するようにいろいろな楽器で呼びかけ合うような内容に挑戦する。